

事業名 農福連携推進事業（R4～）

【目的】

農業者が新たに農福連携に取り組む場合や、現在の農福連携の取組を拡大、改善する場合に必要な経費を支援することで、県内各地で農福連携の先進事例となるモデルを育成し、農福連携の取組拡大を図る。

【事業の内容】

新たに農福連携に取り組む場合、又は現在の農福連携の取組拡大や改善を図るために必要な資材・器具の導入や、専門家からの指導等による知識習得に関する取り組み等に対して支援。

【事業主体】

農福連携に取り組む農業者又は農業を営む法人、農業者の組織する団体、市町

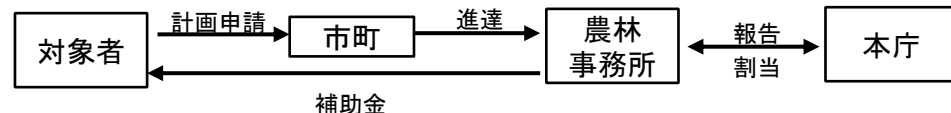
【対象となる取組】

作業指示、作業補助に必要な資材の購入：収穫カゴ 等	専門家等の外部講師の派遣：講師謝金 等
生産性向上に必要な資材、農機具の購入：作業台車、ハサミ、草刈り機 等	労働環境の改善：テント、送風機 等
農福連携勉強会等の開催：会場使用料 等	先進地視察等：交通費（宿泊費除く） 等

【補助率】

1／2以内（上限事業費 500千円（補助金額250千円）/事業主体）

【事業の流れ】



【活用例】

- ＜作業指示、作業補助に必要な資材の購入＞
 - ・出荷調整作業が理解しやすくなるように色分けされたコンテナや収穫カゴの導入
- ＜生産性向上に必要な資材、農機具の購入＞
 - ・高さ調整の可能な作業台の設置による作業負担の軽減と効率化
 - ・多数の利用者が一斉に作業を実施するために必要な軽量で扱いやすい鋏の購入による作業効率の向上
- ＜労働環境の改善＞
 - ・体調管理に有効な日よけや休憩スペースの整備
 - ・座ったまま作業や移動ができ、体への負担が少ないタイヤ付き作業椅子の導入
- ＜農福連携勉強会等の開催＞
 - ・農福連携技術支援者育成研修への参加経費



【担当課】 農業経営課 集落農業活性化班

農福連携推進事業の取組実績

市 町	作 業 内 容	事 業 の 取 組	補 助 対 象
神戸市	○いちごハウス内の清掃 (葉・花などの清掃、 雑草抜き)	○ブロワーの導入による作業の簡略化・効率化。 コード式を使用すると取り回しの時間や補助員の サポートが必要となるため、バッテリーを購入。	○充電式ブロワー一式×2セット ○追加バッテリー×4台
	○ほうれん草の収穫・ 播種 ○青ネギの収穫・播種	○2条播き播種機、薬剤同時施用機の導入による 播種作業の簡易化・効率化。 ○収穫台車の導入による作業労力の軽減、効率化。 ○利用者にも簡単に使える泥落としの導入。	○播種機×1台 ○収穫台車×1台 ○雪泥落とし×2台
	○トマトの葉かき作業 ○トマトの収穫作業	○一斉作業の実施による作業効率化。 ○軽い力で安全に扱える専用鋏の導入による作業 の効率化。	○作業台車×2台 ○鋏×8本
三田市	○黒大豆枝豆の収穫・ 枝剪定 ○白菜の収穫	○枝豆専用バサミの使用による作業負担の軽減、 効率化。 ○軽トラシート活用による雨天時の運搬の効率化。	○充電式太枝切鋏×1本 ○太枝切鋏×4本 ○軽トラシート×1枚
明石市	○枝豆、ほうれんそうの 出荷調整 ○農福連携技術支援者 育成研修への参加	○出荷調整作業及び指示の簡略化。 ○研修会参加による知識習得。	○収穫カゴ×20ケース ○採集コンテナ×20ケース ○研修会参加のための交通費
姫路市	○葉物野菜の袋詰め ○リーフレタスの洗浄・ 袋詰め	○夏場の集荷・出荷調整スペースの高温対策。	○遮光用ネット(10m×10m) ○冷風扇×1台
新温泉 町	○ピーマンの収穫、選別 作業	○一斉作業の実施による作業効率化。 ○移動イスの導入による作業負担の軽減。 ○夏場の熱中症対策のための休憩スペース設置。	○収穫用箱×30個、カート×10個、 自動消毒バサミ×9個 ○移動イス×10個 ○テント×1張、扇風機×2台、発電 機×1個
丹波 篠山市	○雑草除去 ○黒大豆の収穫作業	○一斉作業の実施による作業効率化。	○刈払機×8台